

平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」における 佃中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 26 年 4 月 22 日（火）に、3 年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒
- ・佃中学校では、3 年生 159 名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・数学 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・数学 B】
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

(2) 児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大 阪 市 立 佃 中 学 校

生徒数

159

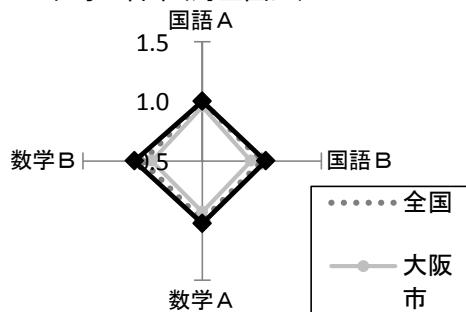
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	75.9	47.8	64.0	59.0
大阪市	75.9	46.3	62.5	55.2
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

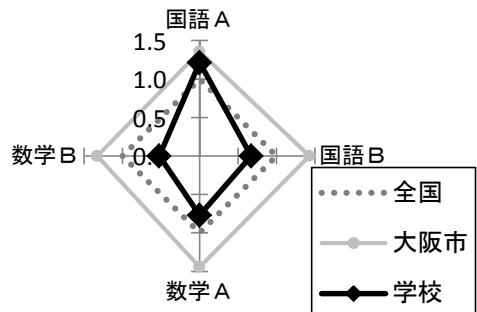
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	5.1	3.4	4.8	7.6
大阪市	4.2	5.0	6.2	14.5
全国	3.1	3.5	4.3	10.9

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



結果の概要

国語・数学ABとともに全国平均に届かないが大阪市平均正答率とほぼ同じ。しかし、問題内容に

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

個別学習を中心に、補習や放課後指導を行ってきた。平均して基礎学力の定着は見られるが、

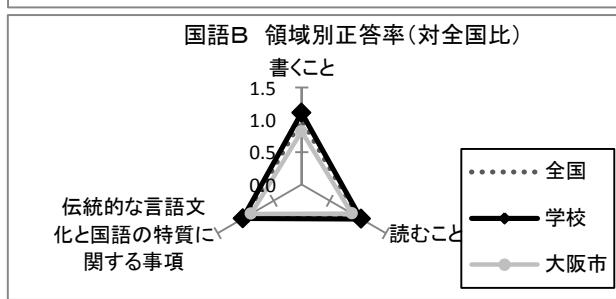
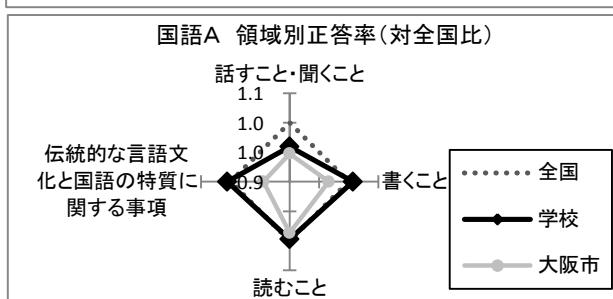
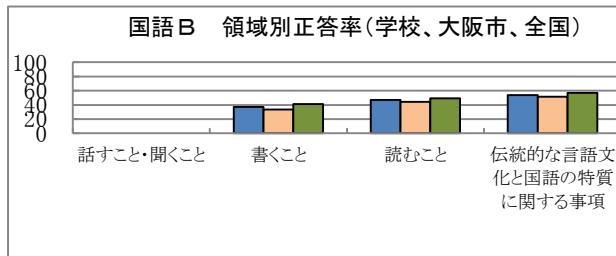
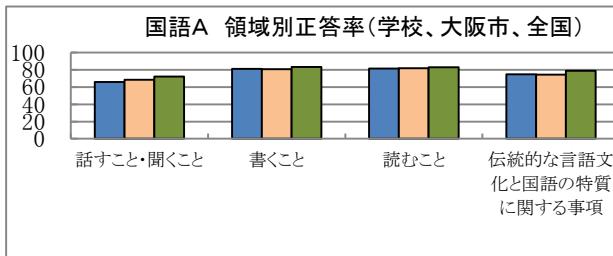
【国語】

結果の概要

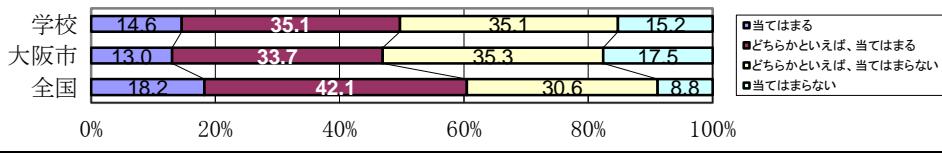
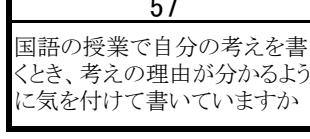
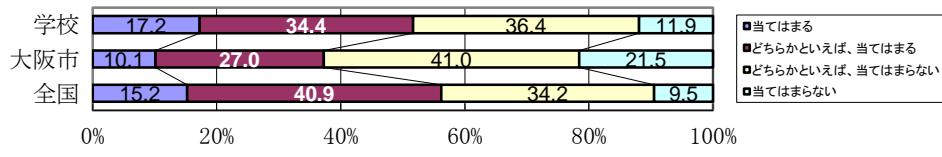
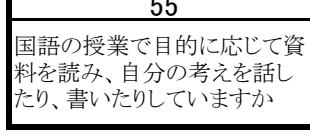
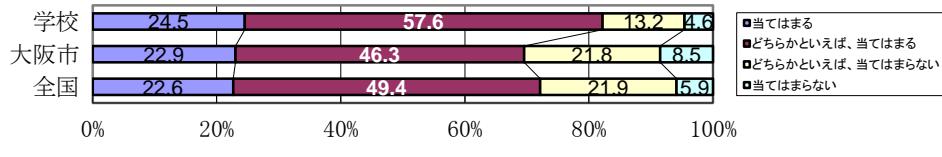
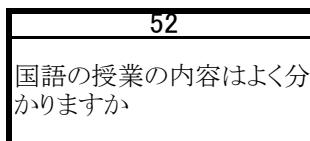
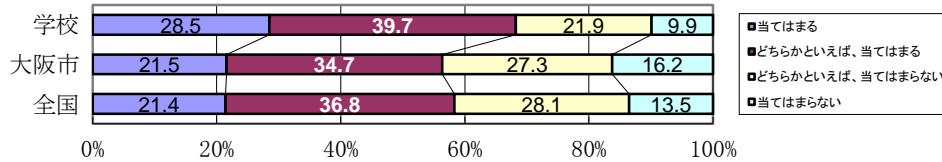
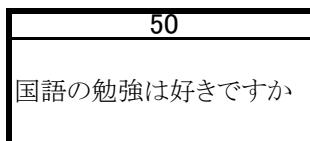
AB問題ともに全国平均に達していないが、大阪の平均程度である。しかし、話すこと聞くことの正答率がかなり低くなっている。書くこと読むことは平均的にはできている。生徒質問紙からもわかるように、国語は嫌いではなく、授業もわかりにくくはないが、相対的に意見を述べたり討議したりコミュニケーション力が低い。

A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	65.7	68.5
	書くこと	6	81.2	80.6
	読むこと	5	81.6	81.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	74.7	74.3
				78.7

B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—
	書くこと	3	37.3	33.6
	読むこと	8	46.8	44.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	53.9	51.3
				56.8



国語に関する「生徒質問紙」



成果と課題

学校図書館の利用や読書の推進、個別学習により読解力や国語の理解力はついてきている。しかし、討議形式の授業や意見交換の場が少なく、コミュニケーションが苦手である。

今後の取組

ディスカッションや意見交換のできる授業の工夫を行う。学校図書館の充実と読書指導の推進をはかる。日本の古典などに興味をもたせ、伝統文化を推進する。

【数学】

結果の概要

基礎的な力はある程度ついてきている。A・B問題ともに大阪市平均正答率よりは良いが、全国平均と比べてわずかに届いていない。A問題に比して、B問題のほうが力を発揮している。

A 問題

平均正答率(%)

学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	数と式	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	12	75.6	72.8	77.4
図形	12	62.4	61.2	66.4
関数	8	51.5	53.2	58.0
資料の活用	4	58.8	54.0	59.1

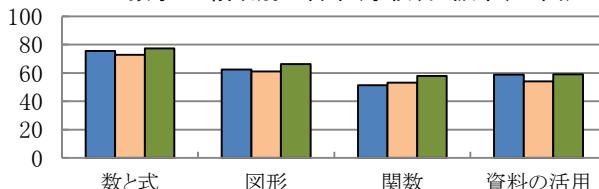
B 問題

平均正答率(%)

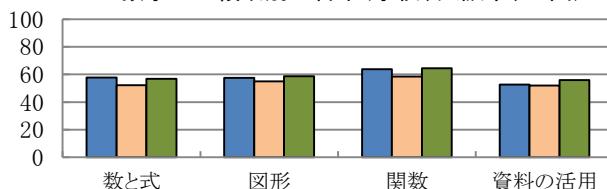
学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	数と式	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	3	57.8	52.1	56.9
図形	5	57.5	55.0	58.6
関数	5	63.8	58.5	64.4
資料の活用	2	52.6	51.9	55.9

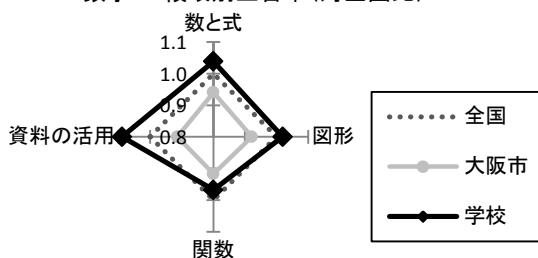
数学A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



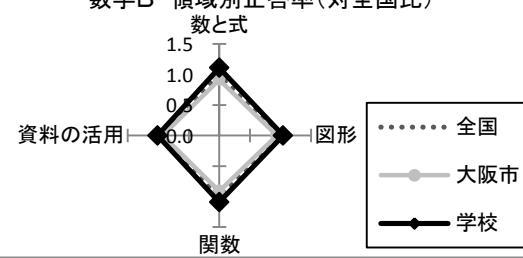
数学B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



数学A 領域別正答率(対全国比)



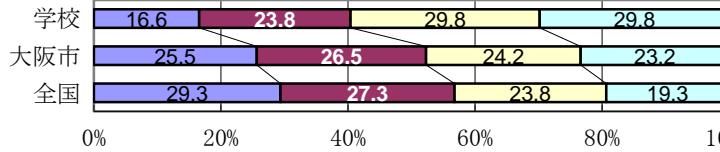
数学B 領域別正答率(対全国比)



数学に関する「生徒質問紙」

62

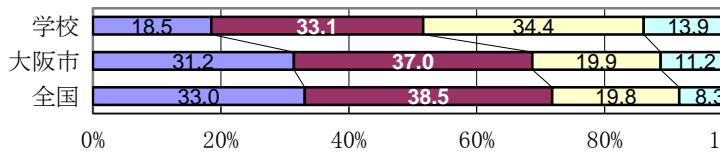
数学の勉強は好きですか



当てはまる
どちらかといえば、当てはまる
どちらかといえば、当てはまらない
当てはまらない

64

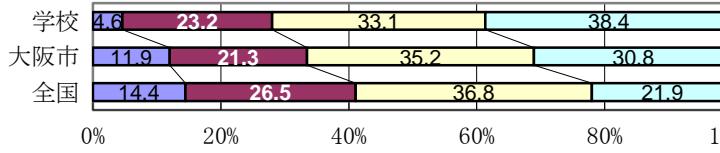
数学の授業の内容はよく分かりますか



当てはまる
どちらかといえば、当てはまる
どちらかといえば、当てはまらない
当てはまらない

67

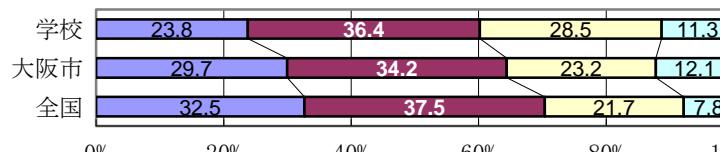
数学の授業で学習したこと
を普段の生活の中で活用で
きないかと考えますか



当てはまる
どちらかといえば、当てはまる
どちらかといえば、当てはまらない
当てはまらない

70

数学の授業で公式やきまり
を習うとき、その根拠を理解
するようにしていますか



当てはまる
どちらかといえば、当てはまる
どちらかといえば、当てはまらない
当てはまらない

成果と課題

個別学習や少人数学習で、基礎的な力はついてきているものの、質問項目から見ても、全国に比べてとても数学の授業に関して否定的である。数学が嫌いであるや、わからない生活とのかかわりなど、授業をもっと工夫する必要がある。子供たちに考えさせ、相互に教えあえるよな工夫が必要。数学に興味を持たせることが大切。

今後の取組

生徒が数学に興味を引くような授業の展開や、引き続いての個別指導や少人数授業による基礎学力の定着を図っていく。

学びの充実に向けて(1)

結果の概要

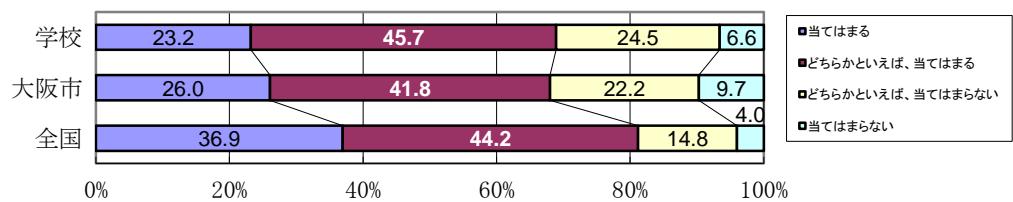
授業における、子供自身の主体的な学習が少なく、表現したりプレゼンしたりする機会が少ないと感じている。

読書についても好きな生徒が少ないのは、いい本との出会いや本に触れたり読んだりする機会がまだまだ少ないといえる。生徒間での話し合いでは、行事などの取り組みが充実しているので、その中で議論になっている。

質問番号	質問事項
------	------

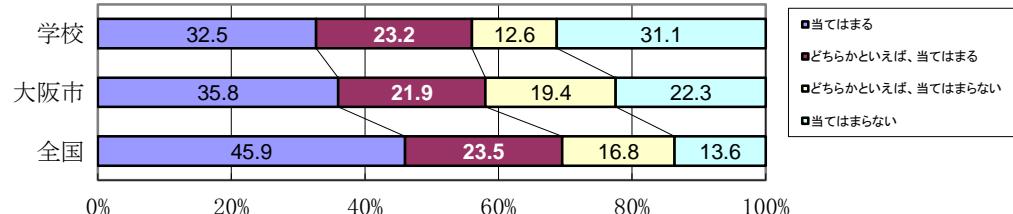
42

1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



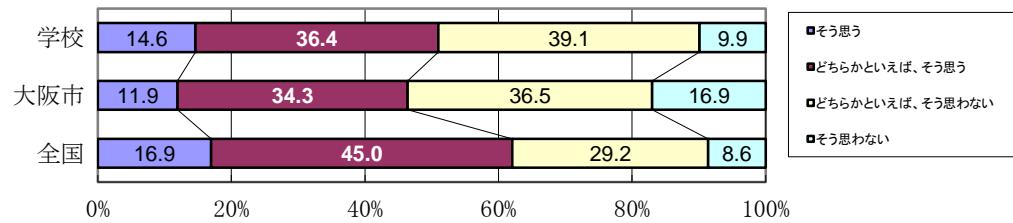
53

読書は好きですか



48

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



今後の取組

学校図書館の充実を図り、読書量を確保していくとともに、読書習慣をつける方法を確立する。

学びの充実に向けて(2)

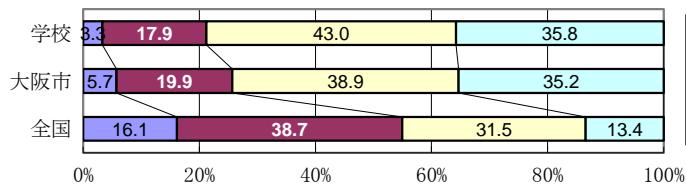
結果の概要

総合的な学習を自分たちでテーマを選び、自分たちで企画していく補法ではできていない。
言語活動の充実の観点からも、自主的な学習を進めなければならない。各学年での取り組みでは、教員からのテーマ設定に合わせて、調べ学習を行い、学芸発表会などの場で、発表やプレゼンテーションを行った。

質問番号	質問事項
------	------

40

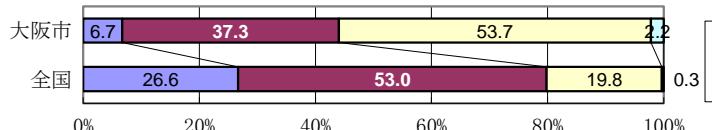
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



42【学校質問紙】

総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

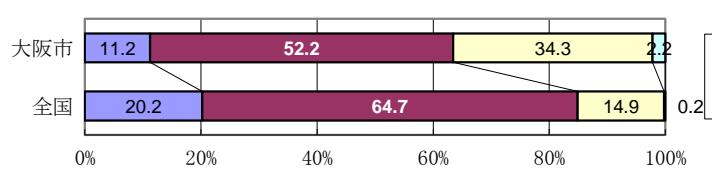
学校 「あまり行っていない」を選択



30【学校質問紙】

各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

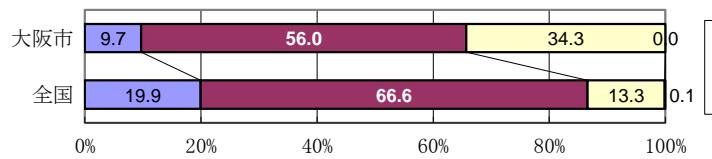
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



41【学校質問紙】

自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

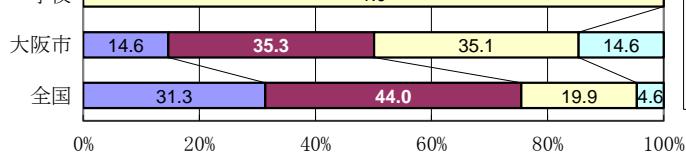
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



43

1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか

学校



成果と課題 自主的な課題学習ができないので、総合的な学習の時間を強化していく必要がある。教師主導

今後の取組 生徒の課題意識や、自主的な学習を進めるアクションラーニングを取り入れていく。

基本的生活習慣

結果の概要

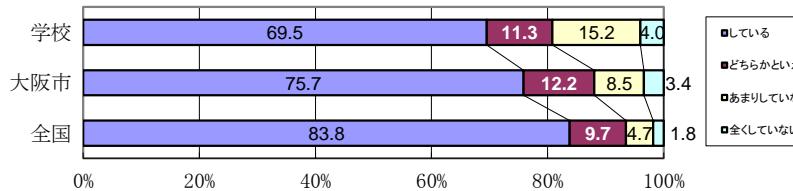
家庭での生活習慣が全国に比して、不規則なところがある。ゲームやスマホなどの使用時間は全国平均ぐらいで、今どきの中学生である。

質問番号

質問事項

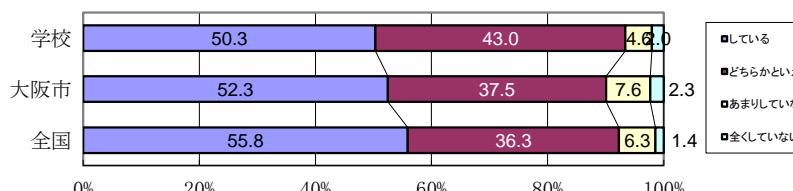
1

朝食を毎日食べていますか



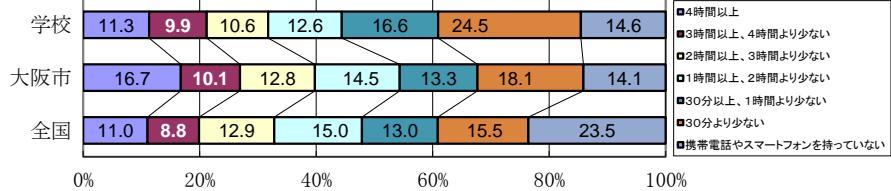
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



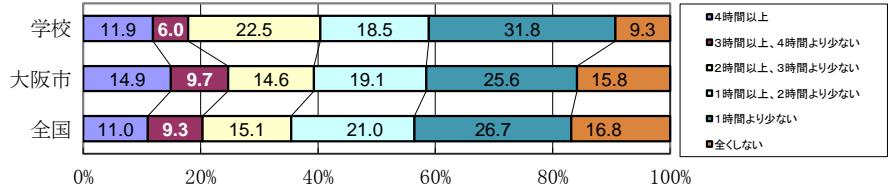
13

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームは除く)



12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



成果と課題 携帯やスマホに関しては、使用法歩など日頃より指導している。家庭での生活習慣は遅刻をなくす

今後の取組 引き続き規則正しい生活の指導と、家庭への啓発活動を勧める。

家庭学習

結果の概要

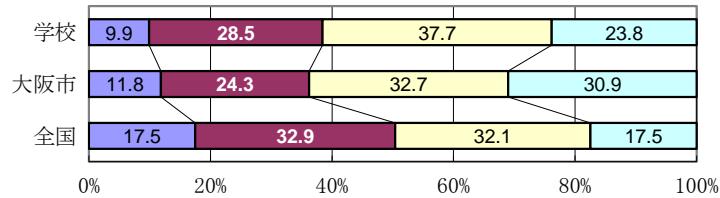
家庭での学習時間が少ない。予復習や計画的な家庭学習が少ない。家庭での生活習慣に寝ていた学習ができない。

質問番号

質問事項

24

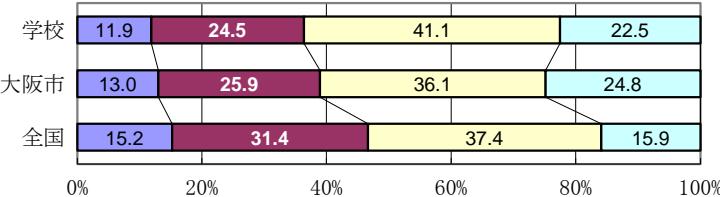
家で、学校の授業の復習をしていますか



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

21

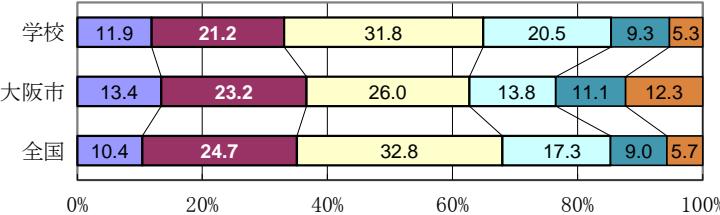
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

14

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



- 3時間以上
- 2時間以上、3時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 30分より少ない
- 全くしない

成果と課題　自主的な家庭学習の指導。塾に頼らず、自ら課題を見つけ学習する力を育てる必要がある。

今後の取組　宿題の出し方や課題の持たせ方の指導を工夫していく。

自尊感情・規範意識

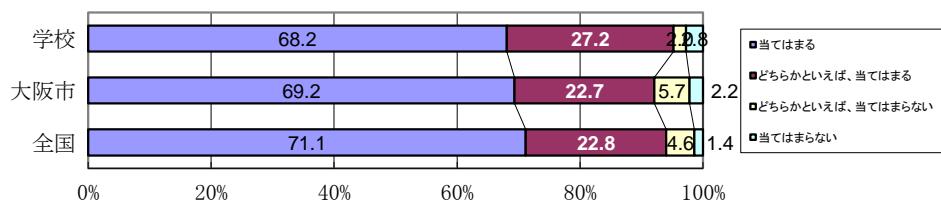
結果の概要

規範意識は高く、落ち着いた学校生活が営めている。また、最後まで、物事をやり遂げる姿勢はできている。それに比べて、自尊感情が低く、自分に自信が持てない生徒が、全国平均より多い。

質問番号 質問事項

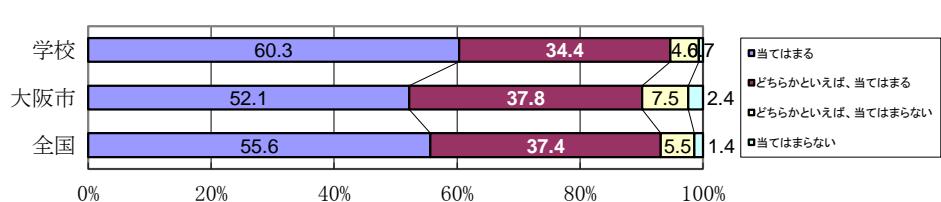
4

ものごとを最後までやり遂げ、うれしかったことがありますか



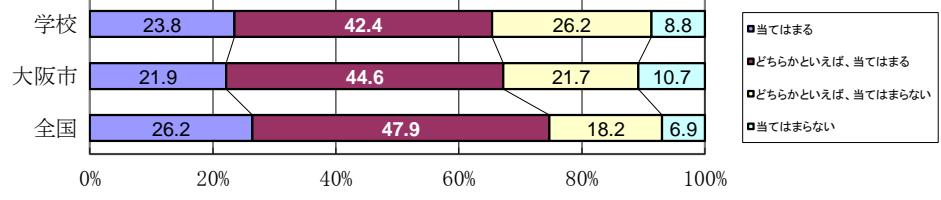
34

学校の規則を守っていますか



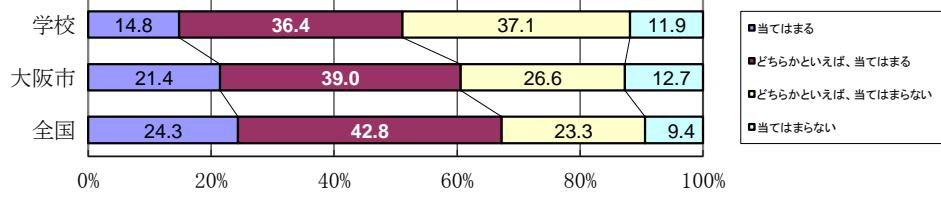
28

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



6

自分には、よいところがあると思いますか



成果と課題 規範意識を高める指導を進めてきた結果、落ち着いた学校生活が保たれている。落ち着いた環境が

今後の取組 規範意識を保ちつつ、自信をもって学校生活を送るため、個々の生徒の良いところに焦点にし、褒め

学校・家庭・地域の連携

結果の概要

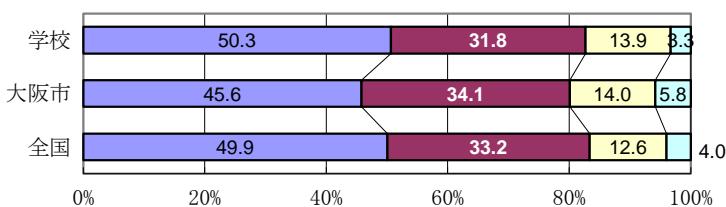
家庭や地域は学校に協力的で、生徒のことを常に見守っている。

質問番号

質問事項

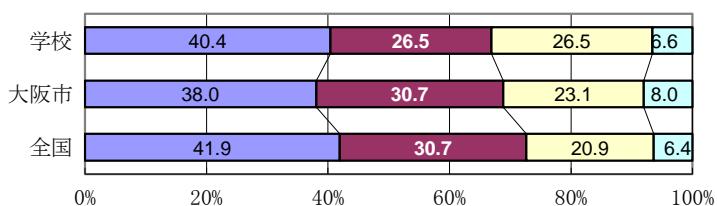
20

家人(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



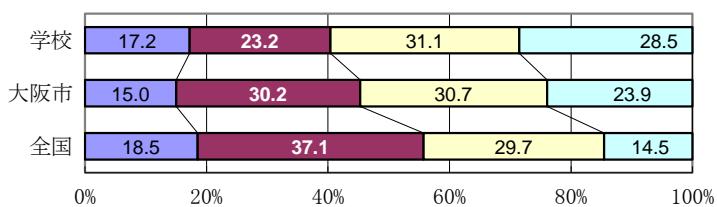
19

家人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30

地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がありますか



成果と課題

地域行事への参加や保護者が学校へ訪れる機会も増え、地域の関心も高くなってきた。地域行事

今後の取組 学校の公開と、地域人材の活用。生徒の地域行事への参加の啓発。

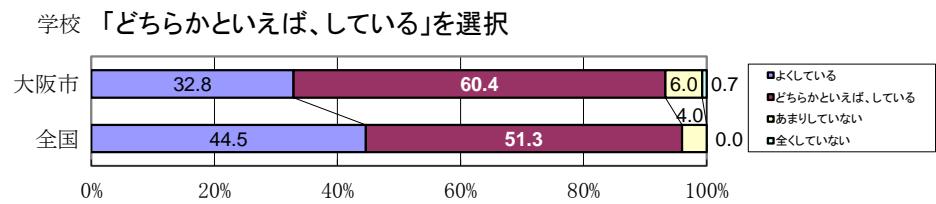
学校組織の改善

結果の概要

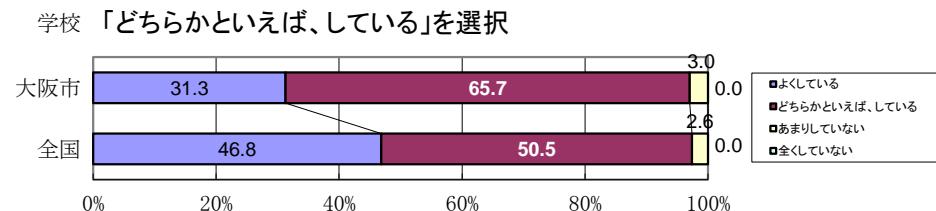
学校組織として、問題点や課題点は学期に1回、共通理解を図っているが、各教科ごとの理解と課題解決に負うところが大きい。

質問番号	質問事項
------	------

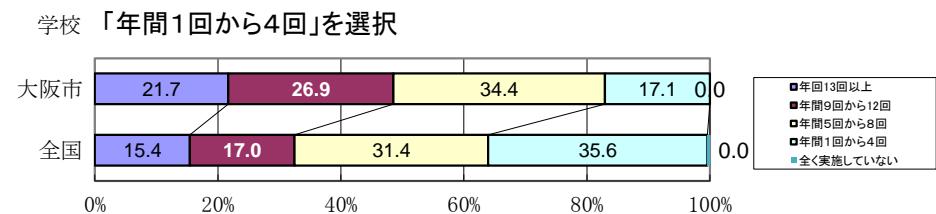
98【学校質問紙】
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



96【学校質問紙】
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか



89【学校質問紙】
授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか



成果と課題	全体での研修や共通理解の場を増やす必要があるが、研究討議等を持てる時間が限られているため、各教科ごとの取り組みを中心とした組織体制の確立が課題である。
-------	---

今後の取組 各教科ごとの取り組みを中心に、全体での効率よい組織体制を作っていく必要がある。